

平成30年3月議会の開会に当たりまして、市政運営についての所信について申し述べたいと思います。

さきの枕崎市長選挙におきまして市民の皆様のお信任をいただき、枕崎市長の重責を担うことになりました。市長選挙は28年ぶりの新人同士の選挙となり、ここ数回の市長選挙とは様相の違うものになったと、私の周りでも、また報道等でも評価がなされました。

私は、出馬表明当初から今までの選挙とは違う戦い方を模索し、枕崎を何とかひとつにしたいとの思いから、組織の力に頼らず市民の皆様へ直接、自身の政治姿勢を伝えてまいりました。結果、この重責を担ったわけですが、これから先、枕崎をひとつにしたいとの思いで、行政運営を進めていく覚悟です。私が覚悟と申し上げたのは、政治に携わる者に限らず、人は人生を懸けて仕事に取り組むときその思いを覚悟に変えて取り組むものです。この議会に臨む全ての方が枕崎のために、枕崎をもっとよい自治体にしようという思いで覚悟を持って臨んでいただければ、あえて覚悟という言葉は申し上げません。この枕崎をもっとよい自治体にしよう、もっとよいまちにしようという覚悟をそれぞれが持つことが、まず枕崎をひとつにするという第一歩であると私は考えております。そのお互いの強い覚悟の中でよりよい議論が進み、議会が活性化し、行政運営も緊張感を持った中で進んでいくものと信じます。自治体の経営、つまり行政運営が常に緊張感を持ち、市民ファーストで進むことで、市民の皆さんの参加意識、そして枕崎で経済活動をされる組織の皆さんの活動にもよい影響が及び、結果、人も組織もひとつになって前へ進んでいくものと考えます。

就任から約1か月が経過しました。その間、課長職からの各課のヒアリングを経て現状を確認するとともに、選挙期間中に私の掲げてきた公約とのすり合わせを始めたところです。私が掲げた「持続的財政強化のための産業競争力向上」「子育て支援」「地域と人のつながり、コミュニティデザインの再構築」については、実現に向けて個別具体的に実行

プランを立ててまいります。施策によっては達成への工程が困難なものもあろうかと思いますが、一つ一つ丁寧に、そして既存の枠に捉われない新しい考え方で取り組んでまいります。

私は毎週の課長会議の中で、庁内の5Sの徹底を常に訴えています。御存じとは思いますが、整理・整頓・清潔・清掃・躰の5つの頭文字Sの5Sはトヨタ生産方式の基本となり、トヨタを世界的企業に押し上げたメソッド、いわゆる方法です。庁内に5Sを徹底することで、最終的にはコスト削減、業務の整理整頓を進め、限られたリソース、いわゆる資源を有効に使う工夫で庁内の仕事の仕方を変革し、困難と思われる課題にも積極的に取り組んでまいります。

これから全職員と力を合わせて、枕崎のために丁寧に確実な仕事をしてまいります。市民の皆様、そして議会の皆様の御理解と御協力を何とぞよろしくお願いいたします。